

情報公開文書

研究課題名：コロナ禍における学生相談のハイブリッド体制整備—利用件数を評価指標として—

1. 研究の対象

- 2018年度から2021年度にかけて、キャンパスライフ支援室の「なんでも相談」を利用した者

2. 研究期間

2018年4月～2023年5月 ※2022年6月のキャンパスライフ支援室運営委員会にて事後的に過去のデータの研究使用について承認を得た。

3. 研究目的

東北大学理学部・理学研究科には専属の学生支援室であるキャンパスライフ支援室が設置されています。キャンパスライフ支援室は専門の相談員による「なんでも相談」と、大学院生による「学習相談」を中心的なサービスとして提供しています。この内、「なんでも相談」の利用件数について、コロナ禍前後の期間を分析対象とし、どのような学生支援実践が利用件数の増減に寄与したか検討します。

なお、本研究はデータを追加し、再分析をした上で学術雑誌への投稿を行うことがあります。そちらの研究に関する情報公開は本紙とは別に行います。

4. 研究方法

2018年度から2021年度に「なんでも相談」を利用した者について、匿名化した情報を対象に分析を行います。具体的な分析項目は「5. 研究に用いる試料・情報の種類」をご覧ください。年度と季節によるクロス集計表を作成し、利用件数に有意な偏りが示されるか χ^2 検定を用いて検証します。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

【情報】

- a) 各月の利用件数
- b) 各利用時の相談形態（対面 or 遠隔） ※遠隔相談とは電話、メール、ビデオ通話による相談

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、ご希望があれば

2023年1月10日作成 (第1版)

ば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて研究対象者本人もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 電話：022-795-6706

E-mail：soudan [at]mail.sci.tohoku.ac.jp ※[at]→@に変換してください

研究責任者：東北大学大学院理学研究科キャンパスライフ支援室 岩淵将士

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」をご覧ください。

※注意事項：以下に該当する場合にはお応えできないことがあります（人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)）

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することが出来ます。保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

個人情報の開示等を希望される方は「8. お問い合わせ先」にご連絡ください。

※注意事項：以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

（人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>）

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合